

新しい公共支援事業の成果等報告（新しい公共の場づくりのためのモデル事業分）

平成24年度中間報告書

1 事業実施内容

事業名	NPO等と企業が地域課題に取り組むことを盛んにしていくための仕組みづくり	
分類	■一般枠 □NPO支援重点化枠	
事業実施主体名	特定非営利活動法人Mブリッジ	
事業概要	NPOと企業がともに地域課題を解決するために、対話（ダイアログ）を手段として用いながら、互いの理解を深め、協働を推進する事業です。ダイアログを通じて、①NPOの組織力の強化、②NPOと企業が出会う場の設定、③双方が対等な立場で協働・連携し、継続的に地域課題の解決に取り組むことができる事例の創出をめざします。	
委託額 (内訳は別紙参照)	平成23年度	—
	平成24年度	2,500,000円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	●協働事業参加組織	
	三重県環境生活部 男女共同参画・NPO課	
	三重県雇用経済部 サービス産業振興課	
	松阪商工会議所 地域振興課	
	●会議の実施状況	
	実施月日	会議の議題
4月11日	今後の活動方針の共有	
7月20日	今後のスケジュールの共有	
取組内容	●これまで取り組んできた内容	
	<p><b>シャープ株式会社三重工場 ステークホルダーダイアログの実施</b></p> <p>平成24年5月15日、シャープ(株)三重工場にて「環境情報誌に関する意見交換会（ステークホルダーダイアログ）」を開催しました。同工場が平成16年より発行している「環境・社会貢献活動情報誌」について、参加者とともに対話しながら、今後の地域との関わり方を探りました。このダイアログは、シャープ(株)三重工場と当法人の共同運営で行われ、地域住民、地元NPO、行政職員、大学名誉教授、学生、一般企業、関連企業、社員など、18名が参加しました。後日、2012年度活動情報誌にて、ダイアログの報告ページを当法人が制作し、また別刷で当日のようすと参加者のコメントを掲載したシャープと地域の対話新聞（報告書）を制作しました。このシャープと地域の対話新聞は、10月初旬にシャープ株式会社三重工場のある周辺地域の住民に対して、各戸配布されました。</p> <p><b>研修等への参加と「ダイアログ推進」のネットワークづくり</b></p> <p>○5月1日「ダイアログbar京都」 全国的に注目されているダイアログの最先端の事例を視察しにいきました。</p> <p>○6月2日「ミナトモカフェ」 桑名のグループによるダイアログを見学しにいきました。目指すゴールは違っても、同じ県内でダイアログに取り組む団体との交流は、多くの学びがありました。</p>	

○8月2日に「CSR, 会社の未来 その先へ—新しい経営戦略の構築に向けて」NPO法人パートナーシップ・サポートセンターが主催するセミナーに参加しました。ダイアログを手法として用いながら、経営戦略を組み立てていくという内容は非常に参考になりました。

※なお、下記の事業については現時点での準備を進行中です。

詳細は、「今後（平成24年度下半期）の取組予定内容」の欄にて掲載します。

- ・松阪商工会議所との連携事業
- ・住友電装株式会社の社内ダイアログ

### ●当初（採択時）に計画していた内容から変更したこと

当初のスケジュールでは、ダイアログのモデルケースを2回実施する予定でしたが、3回実施することに変更しました。これは、第1回目（シャープ三重工場）での反響が予想以上に良く、需要の高さを感じたためです。ただダイアログを実施する時期については、相手との調整により決定するので、当初は9月までにすべて実施する予定でしたが、12月と1月に実施することに変更しています。

また当初は、8月～9月頃に「ダイアログ勉強会」を実施する予定でしたが、ダイアログの開催数を増やしたことにより、内容を変更することも考えています。当初は、「普及」を目的として勉強会を開催する予定でしたが、ダイアログの効果や雰囲気を知っていただき普及していくには、ダイアログに参加していただくことがもっとも有効だということを実感しました。そのため、「普及」という目的を果たすために、勉強会ではなく、今後開催するダイアログを他の企業に公開する（もしくは参加いただく）という形も検討しております。

### ●現状の成果と課題

成果としては、ダイアログを実際に開催し、その需要の高さを実感したことです。また実施したダイアログの参加企業から「自社でも開催したい」との申し出をいただき、現在、その準備を進めています。

また結果として、目的別に様々な形のダイアログ（※）にモデルケースとして取り組めることも今後の成果につながると考えています。

（※）様々な形のダイアログの例

新しい商品・サービス開発へ向けた  
「アイデア出しダイアログ」 …会議所との連携事業

地域住民・NPO等を集めて、  
CSR活動への意見を聞く …シャープ(株)三重工場

「ステークホルダーダイアログ」  
社内コミュニケーション促進のための  
「社内コミュニケーションダイアログ」 …住友電装株式会社

現状の課題は、下記の通りです。

〔1〕検討会の存在を活かしきれていない。

〔2〕「ダイアログ」について、今以上の発信が必要と感じている。

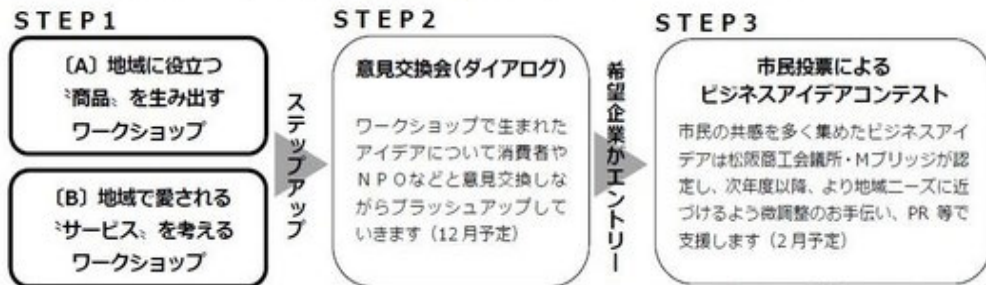
また今後は、協働事業提案の仕組みを活用させていただき、多様な主体をもっと巻き込んでいけるよう、行政から企業への橋渡しにも期待したいです。

●松阪商工会議所との連携事業

現在、松阪商工会議所とMブリッジの協働による連携事業「地域課題をテーマにした新規ビジネス創出サポート事業」を進めています。

この取り組みは、企業とNPOの協働をうながすための仕組みづくりを目的として実施しています。事業の全体像は、下記の通りです。

●地域課題をテーマにした新規ビジネス創出サポート事業の流れ



「ダイアログ」をワークショップで生まれたアイデアをビジネスアイデアコンテストへと導くための「ブラッシュアップのツール」として活用します。10月、11月にワークショップを実施し、12月にダイアログを開催する予定です。

●住友電装株式会社 鈴鹿製作所の社内ダイアログ

5月に実施したシャープ株式会社三重工場の「ステークホルダーダイアログ」に、住友電装株式会社のCSR担当スタッフに参加していただいたことがきっかけとなり、ダイアログを開催させていただくことになりました。

目的は、社内のアイデア出しのためのダイアログです。環境・社会貢献活動に関わる社員を対象に、来年度の環境・社会貢献活動のアイデアやプランについて、意見を出し合う場としたいと考えています。ダイアログは、来年1月18日に実施予定です。

今後（平成24年度下半期）の取組予定内容

平成25年度以降の見通し

まずは、今年度のモデルケースをきっちりと実施することで、企業等にとって魅力的なパッケージとなるよう育てていきます。そのためにも行政や商工会議所と密に協働・連携し、多様な視点を取り入れながら、企業への周知を広く実施していきたいと考えています。

また今年度に企業がマルチステークホルダーダイアログのモデルケースを作ることで、来年度以降、企業がマルチステークホルダーダイアログを取り入れやすくなるような仕組みづくり、企業とNPOの協働の促進へとつなげていきたいと考えています。そのためにも、来年以降もNPO、行政、会議所（経済団体）、対話を促進している経営品質協議会などの組織らと連携していきやすい関係づくりにも力をいれたいと考えています。

2 成果の達成状況等

平成 24 年度に 達成しようと する成果	①ダイアログを運営できるNPOを生み出す。 ②NPOと企業の協働の必要性を広く知らせる。			
具体的な指標 の達成状況等	項 目	当初目標設定	9 月末日の 達成状況	平成 25 年 3 月末 達成見込み
	①当法人のダイアログ 開催数	目標値 (1) / 現状 (0)	1	4
	②企業のダイアログ呼 びかけ数	目標値 (50) / 現状 (0)	3 2	5 0
	●成果指標の達成状況  ダイアログの実施は、順調に進めています。 NPOと企業の協働の必要性を広く知らせる点では、松阪商工会議所との連携事業を活用 して、知らせていきたいと考えています。			
	●課題 および その改善方針			
	「ダイアログを運営できるNPOを生み出す」ために、ダイアログのモデルケースをきつ ちりと作り、企画・運営方法をマニュアル化することが大切だと考えています。 また課題でも記したとおり、 [1] 検討会の存在を活かしきれていない。 [2] 「ダイアログ」について、今以上の発信が必要と感じた。 という問題点があります。 協働事業提案の仕組みを活用させていただき、多様な主体をもっと巻き込みながら進めて いく必要性を感じています。また行政（特に企業とのつながりの深い部署等）から企業へ の橋渡しにも期待したいです。情報発信にもさらに力を入れていきたいと考えています。			
	評価ランク A			
現状の 自己評価	<input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られ なかった (該当する評価にチェックを付けてください)			